



## 「実務者のための道路橋支承部の点検・診断と長寿命技術」講習会

東京会場：平成 28 年 5 月 20 日（金） 行事コード：25604 略称：支持機能（東京）  
大阪会場：平成 28 年 6 月 16 日（木） 行事コード：25605 略称：支持機能（東京）

### ● 趣 旨

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震では、道路構造物が大きな加速度応答によって直接的に損傷した事例は少ないものの、津波によって上部構造が流失したり、震源から遠く離れた地点の橋梁で積層ゴム支承本体に破断が生じるなど、過去に経験の少ない特殊な事例が発生しました。鋼橋の支持機能小委員会では、東北地方太平洋沖地震によって受けた支承部の損傷状況や自治体で行われた点検結果などについて検討を重ねてまいりましたが、その結果を報告書としてまとめ、講習会を開催することになりました。

報告書では、支承部として考慮すべき事項について新しい知見を加えるとともに、支承部の予防保全と長寿命化技術の提案および今後の維持管理に向けての提言をまとめています。また、維持管理の実務で役立つように、多くの写真や図を用いて支承の機能や点検・診断方法を解説しており、橋梁の設計・施工および維持管理に関わる初心者からベテランの技術者にとって非常に役立つ内容となっていますので、多数のご参加をお願い致します。

- 主 催 土木学会（担当：鋼構造委員会 鋼橋の支持機能検討小委員会）
- 日 時 （東京）平成 28 年 5 月 20 日（金）13：30—17：30  
（大阪）平成 28 年 6 月 16 日（木）13：30—17：30
- 場 所 東京会場：土木学会 2 階講堂（東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内）  
大阪会場：大阪市立大学文化交流センター（大阪府大阪市北区梅田 1-2-2-600（大阪駅前第 2 ビル 6 階）
- 参加費 正会員 6,000 円、非会員 7,000 円、学生 4,000 円（テキスト代含む）
- 申込方法 土木学会ホームページからの申し込み（申し込み先着順）
- 申込期限（東京）5月9日（月）、（大阪）6月6日（月）
- 問 合 先 土木学会 研究事業課 尾崎史治 Email:fumiharu-ozaki@jsce.or.jp TEL:03-3355-3559
- 詳 細 <http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>
- 内 容 講習会の内容は次のとおりです。

1. 記念講演 一橋梁付属物の溶接問題— 法政大学 森 猛 教授
2. 趣旨説明 委員長 藤原 博 (株)ネクスコ東日本エンジニアリング
3. 支承の技術的変遷 幹事長 姫野 岳彦 (一社)日本支承協会
4. 東北地方太平洋沖地震による支承部への影響、常時における支承部の損傷傾向  
谷中 聡久 (株)横河ブリッジ
5. 支承部の基本と長寿命化に向けた設計計画 朝倉 康信 (一社)日本支承協会
6. 支承部の点検ポイント、補修・改善事例と今後の維持管理  
臼井 恒夫 (一財)首都高速道路技術センター
7. 閉会の挨拶 比志島 康久 (一社)日本支承協会

以上